

病害虫発生予察情報

2 月月報

平成 23 年 3 月 17 日
東京都病害虫防除所

1 気象概況

2011 年 2 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		本年	平年比 (%)	本年	平年比 (%)
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差				
上旬	11.2	2.0	-0.5	0.3	5.4	1.3	3.5	29	57.7	92
中旬	9.4	-0.4	0.5	0.3	4.5	-0.4	89.5	354	43.6	73
下旬	13.9	4.1	2.1	1.6	7.8	2.7	30.0	161	55.8	110
平均	11.3	1.7	0.6	0.7	5.8	1.1				
合計							123.0	219	157.1	91

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差(比)：準平年値(1979～2000年の平均値)からの差(比)

気 温：上旬は高く、中旬は低く、下旬はかなり高かった。

降 水 量：上旬は平年並、中旬はかなり多く、下旬は多かった。

日照時間：上旬は平年並、中旬はかなり少なく、下旬は多かった。

< 天候概況 >

上旬：冬型の気圧配置や高気圧に覆われた影響で概ね晴れた。6日と8日から9日にかけては関東南岸を通過する低気圧により雨やみぞれが降った。また、9日の午前中は一時雪が降った。

中旬：伊豆諸島や関東地方の沿岸部を低気圧が次々に通過したため、天気は数日の周期で変化した。また、これらの低気圧の影響で東京(大手町)では14日に2cmの降雪を、18日には日降水量76.5mmを観測した。

下旬：高気圧に覆われて概ね晴れたが、24日と28日は低気圧の影響で雨となり、28日は一時みぞれとなった。

2 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：促成トマト、促成イチゴの生育は概ね順調であった。果菜類の苗の生育も順調であった。

葉根菜類：施設コマツナやハウレンソウの生育は順調であった。キャベツ苗の生育も順調であったが、秋植えのものは低温乾燥によって一部の地域では生育が遅れた。ハウス栽培のダイコンは低温の影響で生育がやや遅れている。露地のブリッコリーは花蕾の肥大がやや不良であった。

3 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト (施設・抑制)

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< 並 >	発生は平年並みであった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ (施設)

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ホウレンソウ (施設, 露地トンネル)

べと病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ (施設)

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(2) 花きの病害虫 (施設)

花き共通の病害虫

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

大 島 : アブラナ科野菜及びガーベラで菌核病の発生が多かった。また、フリージアの一部ハウスでネギアザミウマの発生が多かった。
その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

テレフォンサービス

0 4 2 (5 2 5) 8 4 0 7

インターネットの防除所ホームページ

<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法
などをお知らせしています。